

大江小学校・5年 単元名『幼稚園の子どもたちと交流しよう』の流れ(探究過程)と活動の実際 担当【小林 千紘】

◆単元のねらい「大江町に住む幼稚園の子どもたちに出逢うことを通して、幼稚園の子どもたちと一緒に楽しめる活動を考えたり実際に活動したりすることで、大江町の福祉について知り、自分の疑問や関心から課題を設定し、目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり必要な情報を選んだりし、相手や目的に応じて工夫してまとめ、表現する力を育てるとともに、対象についての探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら自ら進んで地域社会に関わろうとする態度を育てる。」



◆成果(○)・課題(△)・来年度に向けて(☆)

○各学期1回ずつ、計3回の交流を実施した。1・2学期は幼稚園のオーダーに応える形であったが、3学期は1・2学期の経験を生かして子どもたち主体で活動計画を立て、園児を小学校に招待して活動を行うことができた。

△コロナの影響で何度も延期し、やっと実施ができた。感染予防の観点から活動内容も制限され、子どもたちのアイデアが実現できないこともあり残念である。5年生は「ひとと関わる」のがテーマであるが、高齢者との関わり等も中止となり、人との関わりが持ちにくい状況が続いているのが課題である。

☆今年度のように、最低3回は交流ができると積み重ねができ、子どもたちの成長につながると思う。